

聖書箇所：ヨハネ8：31～39a

タイトル：キリスト者の自由

テーマ：キリスト者は何から自由になったのか。アダムの罪以来、人間はあらゆる不自由さの中に閉じ込められた。神からの自由を求めた結果、罪の奴隷となり、悪魔の甘言に屈し、死ぬべき者となった。

ところが、イエス・キリストはこの三重苦ともいべき人間のあり方から、私たちを解放して下さった。御霊をいただいた私たちは、新たな自由の中を生きられている。にもかかわらず、私たちは何と多くのものに囚われていることだろうか。真理によって自由とされた者が、真の自由を体験するにはどうしたらよいのかを考えてみたい。神の愛の究極の顕われであるクリスマスの前に、イエス様が人として来て下さった意味と恵みをあらためて感謝し確認してみよう。

1. はじめに

*自由と神の愛の関係

2. 文脈の確認

3. 真理による自由(ヨハネ8：31～39a)

①真理とは何か

②何から自由にされるのか

4. 主にある自由を生きた人々

①パウロ

*Iコリント9：19

*ピリピ4：11b～13

*IIコリント3：17その他

②ペンテコステ後のキリストの弟子たち

*使徒たち

*ステパノ(使徒6：8～7章)

*ピリポ(使徒8章)

*バルナバ(使徒9：27他)

*その他

③アントワヌ・レリスさん(パリで起きたテロの犠牲者の夫)

5. 結論・適用

*真の自由はイエス・キリストを信じることから。

*私たちが囚われているものの実体は何か。

*自由に生きられる度合いは信仰の度合いにかかっている。